

吉野の風のなかに



詩人、詩業家
NPO法人
コクルーム代表

上田 假奈代さん
大阪府在住
大淀町出身

「ことばを人生の味方に」と、全国で詩のワークショップをしています。詩人は役立たずだと思うのですが、自分で考えてことばを選び、声にする経験は生きていくうえで、とても力になると思います。上手に並べられたことばや流暢な朗読ではなく、こころを素直に表した人生の声にわたしはグッときます。

ひとりで詩をつくるだけでなく、誰かとお喋りして聴いたことを詩にする「こころのたねとして」という手法を開発しました。テーマはいろいろあり、なかには「思い出の場所」を絵に描いて、お互いに取材して詩にします。参加者といっしょに、わたしも思い出の場所を描きます。気がつくといつも、幼い頃に過ごした吉野の風景を描いています。吉野

川、段々田んぼ、赤い鳥居、スキの細い道、父母の背中、踏みしめる落ち葉の音。吉野を離れて長いあいだ経つのに、ますますあざやかに風が吹き、光がさしこんできます。まるで世界にみつけれられたようなあたたかさで。

いま、わたしが活動するのは大阪の釜ヶ崎です。さまざまな出身の人がひとりで暮らす街です。故郷に帰ることのできない人もいます。人生の話を聴きながら、生きることの尊さにことばを失います。それでも詩にするのは、生きることが表現であり、世界にみつけれられる方法だと信じているからです。

人権コーナー

毎月11日は
「人権を確かめあう日」



(今月のポスター)



橿原市立新沢小 6年
ながまつ まりも
永松 真璃萌さん



五條市立五條東中 2年
なかはら ももか
中原 桃香さん

方言～ことばのエンパワメント～

この夏、東京で暮らす友人と久しぶりに話す機会がありました。彼は奈良を離れて10年になりますが、関西弁がほとんど抜けていないことに、あらためて不思議な思いがしました。東京で生活する地方出身者は、たいてい方言を話さなくなるようですが、関西出身者は、関西弁で話すことを比較のためらわれないと言われています。

「ふるさとの訛なつかし停車場の人ごみのなかにそを聴きにゆく」は、故郷の東北を離れた石川啄木が、方言の懐かしさに惹かれて上野駅を訪れた時の気持ちを詠んだ歌なのでしょう。生まれ育つ

た土地で身につけた言葉は、都会の生活で荒んだ若者の心を元気づけたに違いありません。

人権を考える上で大切な概念のひとつに「エンパワメント」があります。エンパワメントとは誰もが持っている内なる力・可能性という意味だそうです。このエンパワメントを発揮するには、ありのままの自分を受容し、一生懸命生きている自分を肯定することが重要だといわれています。

都会に生きる人にとって、方言は、自分が自分であることを確認できるエンパワメントの源といえるのかもしれませんが。

テレビ&ラジオ



県政テレビ番組

県政フラッシュ 毎日22:54～23:00
県政の出来事を毎日ニュースでお届けします。

県民だより奈良「なら いいね！」
11月9日(土) 21:00～21:30

奈良! そこが知りたい
「消防広域化へ～奈良県の消防の未来とは～」
11月16日(土) 21:00～21:30

せんとくん通信 「ゆうドキッ!」内の
毎週水曜日 18:30頃～約10分間

「奈良県インターネット放送局」で動画配信中

県政ラジオ番組

県政ほっとライン
FMハイホー (81.4MHz)
毎週月・水・金10:15～、火・木16:45～、土11:45～

県政HOTインフォメーション
ならどっとFM (78.4MHz)
毎週月・水・金11:15～、18:45～

担当職員が
県の事業を
わかりやすく
紹介!

問 県広報広聴課 TEL 0742-27-8326

クイズ&プレゼント



〇〇・〇〇に当てはまる
文字を答えてください

県内で4つ目の世界遺産登録をめざしているのは? ○〇・〇〇の宮都とその関連資産群

ヒントは
6ページ

ハガキに答えと、下記アンケートの回答、ほしいプレゼント番号、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取りあげてほしい話題・改善点)などを記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。ホームページ(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも11/1以降、応募できます。

●アンケート●

県政広報について各項目の1～4の中から1つ選んでご記入ください。

①奈良県ホームページ

(www.pref.nara.jp)について

1.よく見ている 2.時々見ている

3.見たことがある 4.見たことがない

②①の1～3と回答された方のみ

1.満足 2.やや満足

3.やや不満 4.不満

③本誌はご自宅にいつ頃届いていますか?

1.発行月の前月末 2.発行月の5日まで

3.発行月の8日まで 4.発行月の10日まで

締め切りは、
11月30日(消印有効)

※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。

正解者の中から抽選で、
県民手帳(黒・すほう色。色は
指定できません。)を20名、
万葉日本画カレンダーを
10名の方にプレゼント!



※①県の主要統計データ、県民相談窓口等、情報満載!

1冊500円で販売中。 図 県統計協会 TEL 0742-27-8439

②1部1000円で発売中。販売場所は下記ホームページで。

図 県立万葉文化館 TEL 0744-54-1850 万葉文化館 検索

9月号の答えは“9”と“1”でした。応募総数 633件。